



メヘンディ (ヘナタトゥー) について



メヘンディとは砂漠に育つ「ヘナ」という植物の葉で描くボディアートです。

おしゃれを目的にすることも多いですが、インドでは結婚式で新郎新婦が「二人が長く幸福に暮らせるように」と願いを込めて行う儀式的なものでもあります。

角質を染めるため、個人差はありますが1週間～2週間ほどで消えるので、簡単に楽しむことができ人気があります。

使い方

肌の角質を染めるため、メヘンディをするまえは染める所の古い角質を落として清潔にしておくとうまく染まります。また、角質の多い手先・足先はうまく染まり皮膚がやわらかい胸元や二の腕は染まりが薄く落ちも早いようです。

①ペーストで模様を描く

コーンの先端を小さく切り、ペーストを絞りだしながら模様を描いていきます。この時、肌を温かくし毛穴を開かせることがよく染まらせるためのポイントです。なるべく湿度の高い環境で行うのが最適でしょう。

あまり強く押すと線が一定ではなくボコボコとしてしまうので、均一にゆっくりと絞り出していきます。間違えて描いた場合は、すぐに拭き取って下さい。細かい箇所は綿棒などを使用すると便利です。細かい模様を描くときはつまようじを使ってペーストをのせると上手くなります。

②レモンと砂糖水をパティングする

模様を描き終わったら乾燥させていき、この時湿気を与えることで肌に定着させます。ペーストが乾いて剥がれ落ちるまでの時間が長ければ長いほど濃く染まるため、砂糖水でひび割れを防ぎレモンの力で色を濃く出せるようにします。

レモンと砂糖を 3 : 1 で混ぜたものをコットンなどに含ませて、ペーストが落ちないよう優しくパティングします。これをペーストが適度な水分を保つよう定期的に行います。最低 1 時間～ 3 時間の間で完全に乾燥させてしまわないように繰り返して下さい。パティングの工程が終了したら、なるべく肌を冷やさないようにゆっくりと乾燥させます。

③オイルを塗る

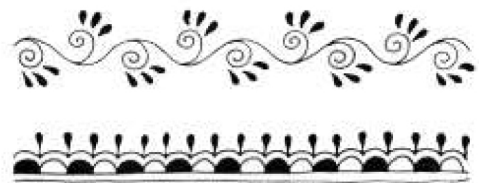
乾いたペーストをはがす前に、模様を描いたところへオイルを塗りこみます。オイルはオリーブオイルやアロマオイルなど種類は何でも大丈夫です。メヘンディ用の「メヘンディオイル」という商品も販売されています。

④乾いたペーストをはがす

この時、水や石鹸は使わないで下さい。完成してから、できれば半日くらいは水に触らないようにして下さい。剥がした後にはオイルをもう一度塗ると持ちがよくなります。

デザイン

手と足のデザインです、細かい模様を連続させて全体に描くと迫力が出ます。初めての方は、下のような小さい模様から挑戦してみては？



～ご注意～

肌の弱い方、肌にキズ等がある場合はかぶれなどの原因になることがありますのでご注意下さい。